

「生き方を学び合おう、高め合おう」 - 生徒も先生も保護者も-



白山市 五松任中学校 令和 3年 10月1日 第10号

令和3年度学力調査の結果について

5月に3年生を対象に行われた学力調査の本校の状況をお知らせいたします。 学校では学力調査の結果をもとに分析・考察を行い、「確かな学力」を身につけられるように、これまでの学習指導を振り返り、授業の改善に努めて参ります。

◇教科に関する調査◇

①結果

《国語》 県平均並み

《社会》 県平均並み

《数学》 県平均並み

《理科》 県平均をやや上回る

《英語》 県平均をやや上回る



②分析・考察および今後に向けて

教科	分析・考察	今後に向けて
国語	「読むこと」「書くこと」の問題についてはいずれも県平均を上回る結果となった。一方「話すこと聞くこと」の問題についてはやや県平均を下回る結果となった。話し合いの流れを意識しつ発言を考える力をつけることが課題と言える。	・「話す・聞く」の単元において、話し合いの流れをつかむ練習を行う。ある人の発言に対してどのように返答や質問をすればよいかを考えさせる。・当該学年の漢字以外に、既習の漢字を復習する時間を家庭学習でとるように促していく。
社会	地理的分野では、資料を関連付けて社会的事象を説明する問題が県平均を下回ったが、歴史的分野では、思考力・判断力を問う問題で県平均を上回った。	 ・授業においては、複数の資料を提示して、関連づけて考察するような授業を展開し、基礎的な用語をおさえる際は、関連する語句と結びつけて抑えられるようにする。 ・授業の冒頭に小テストを実施するなどして、家庭学習を促していく。

数学	数と式、図形、関数、資料の活用の 4領域とも県平均並みの結果だっ た。	 ・授業においては、正しい答えを求めることだけでなく、答えを求めるための考え方を図や表、式、グラフ等を用いて説明する場面を多く取り入れて説明する力を伸ばしていく。 ・家庭学習においては、基礎的な計算力をさらに身に着けるために、基本的な計算を繰り返し行うように家庭学習を促していく。
理科	物理、化学、生物、地学の4領域とも県平均を上回る結果だった。一方で、図やモデルを書くこと、図やモデル、表から自分の考えを導きだすことにやや課題があると考えられる。	・授業においては、モデルを考える内容を工夫するとともに、図やグラフ、表などの解釈することを丁寧に行っていく。 ・家庭学習においては、自身の苦手な内容を把握し、課題をもって取り組めるようにサポートしていく。
英語	3領域いずれも県平均並みか、県を上回る結果だった。自分の考えを表現する力がついている一方、話の内容の要点を捉えることにやや課題がある。	・英語を使う目的、場面・状況を工夫して、要点を捉え、それについて適切に表現する授業を工夫する。その中で英語が正確に使用できるようにしていく。・家庭学習においては、各自の学習の状況に応じて、目的を持たせられるような指導をする。

◇質問紙調査◇

①結果

【「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒】

☆自分や将来の夢についての質問☆	本校	県平均
自分にはよいところがあると思う。	82.3%	75.4%
将来の夢や目標を持っている。	65.0%	68.3%
学校に行くのは楽しいと思う。	79.6%	82.7%

☆家庭学習に関わる質問☆

平日、学校以外で1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

@ 1 ~ 2 時間《本校 39.4% 県 42.9%》 @ 3 0 分~ 1 時間《本校 30.5% 県 17.1%》

@30分未満《本校 9.7% 県 6.4%》 @全くしない 《本校 2.2% 県 2.2%》

②分析・考察および今後に向けて

分析・考察	今後に向けて
《将来の夢や自分について》 自己肯定感は県平均を上回っているが、将来の夢や学校生活の楽しさに繋がっていない。	・一人ひとりの生徒が存在感を感じることが出来る場面を創り出す工夫をし、集団への帰属意識を高め、共感的な人間関係を構築する。・職業講話や職場体験などのキャリア教育で働くことの意義やより具体的な夢を抱くことが出来るようにする。
《家庭学習について》 県平均との比較では家庭学習時間は少なくなってきている。	・家庭学習の意義を理解し、自学ノート等を活用してより効果的な学習が出来るようにする。